



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 藤田観光株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9722 URL <https://www.fujita-kanko.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役兼社長執行役員（氏名）山下 信典
 問合せ先責任者（役職名）企画本部 経理財務部長（氏名）藤石 圭助（TEL）03-5981-7723
 半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	35,882	23.0	5,123	167.9	5,615	124.2	4,004	30.3
2023年12月期中間期	29,162	59.3	1,912	—	2,504	—	3,073	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 4,655百万円（30.1%） 2023年12月期中間期 3,579百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	317.56	—
2023年12月期中間期	256.41	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	98,006	30,228	30.8
2023年12月期	93,496	25,974	27.8

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 30,228百万円 2023年12月期 25,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00			
2024年12月期（予想）			—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）上記「配当の状況」は普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	75,000	16.2	11,000	65.7	11,000	55.3	8,000	△1.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2024年12月期通期の連結業績予想の詳細については、添付資料4ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 一、除外 2社 (社名) MYANMAR FUJITA KANKO LIMITED、
藤田(上海)商務諮詢有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料11ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	12,207,424株	2023年12月期	12,207,424株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	222,523株	2023年12月期	222,259株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	11,985,074株	2023年12月期中間期	11,985,464株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については添付資料4ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	4,000,000.00	4,000,000.00
2024年12月期	—	—			
2024年12月期(予想)			—	—	—

- (注) 1. 2023年12月期の配当原資は、資本剰余金としております。
 2. 2024年12月期の配当予想は、現時点では未定とさせていただきます。
 3. A種優先株式は、2021年9月28日に発行したものです。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(中間連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費の持ち直しなどにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。ホテル・観光業界におきましては、円安を背景としてインバウンド需要が伸長しました。

このような状況のもと、当社グループでは海外向けセールスの強化等により高まる需要を捉え、当中間連結会計期間のインバウンド宿泊者数が前年同期比で増加しました。また、商品力の向上等により、主に宿泊部門において利用単価が上昇しました。

これらの結果、当社グループ全体の売上高は前年同期比6,719百万円増収の35,882百万円、営業利益は前年同期比3,211百万円増益の5,123百万円、経常利益は前年同期比3,110百万円増益の5,615百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、事業撤退にかかる特別損失の発生等により4,004百万円となりました。

業績の概要は以下の通りです。

(単位：百万円)

	2024年中間 連結会計期間	前年同期比
売上高	35,882	6,719
営業利益	5,123	3,211
経常利益	5,615	3,110
親会社株主に帰属する中間純利益	4,004	931

セグメント別の概況については以下のとおりです。

セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高		営業利益	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
WHG事業	21,416	4,840	4,331	2,436
ラグジュアリー&バンケット事業	8,970	310	577	△68
リゾート事業	4,889	1,768	182	583
その他(調整額含む)	605	△200	31	260
合計	35,882	6,719	5,123	3,211

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去および各セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
 2. 当中間連結会計期間より、組織変更に伴い、営業施設の属するセグメントを一部変更しております。このため、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に組替えて比較しております。

WHG事業では、欧州、豪州、アジアでの現地セールスを行い、顧客開拓の取り組みを継続しました。その結果、当中間連結会計期間のインバウンド宿泊者数が前年同期比で増加したことに加え、早期から高単価での予約を獲得したことでADR(客室平均単価)が大きく上昇しました。「新宿ワシントンホテル」においては、運営受託方式で営業していた新館を直営化し、4月1日より「新宿ワシントンホテル ANNEX(別館)」(337室)として営業再開しました。また、「仙台ワシントンホテル」「ホテルグレイスリー札幌」にて客室の改装を実施し、商品力強化を図りました。同事業全体では前年同期比で売上高は4,840百万円増収の21,416百万円、営業利益は2,436百万円増益の4,331百万円となりました。

ラグジュアリー&バンケット事業では、「ホテル椿山荘東京」各部門において高付加価値商品の販売施策を継続するなど単価向上に取り組み、宿泊、料飲、宴会の各部門にて前年同期比増収となりました。婚礼部門は、件当たり単価は前年同期から上昇したものの件数減を補いきれず減収となりましたが、同事業全体では前年同期比で売上高は310百万円増収の8,970百万円となりました。営業利益は、新卒採用に伴う教育期間において一時的に人件費が増加したことなどにより、68百万円減益の577百万円となりました。

リゾート事業では、前年7月に開業した「箱根ホテル小涌園」で稼働率、ADRが引き続き順調に推移しました。「箱根小涌園ユネッサン」では流れるプール新設などのリニューアル効果のほか、「箱根ホテル小涌園」開業により入場人員が前年同期比で増加しました。「箱根小涌園 天悠」では、高付加価値商品の販売に引き続き力を入れたことにより、ADRが上昇したほか、インバウンド集客などにより平日利用が増加し、稼働率が上昇しました。同事業全体では前年同期比で売上高は1,768百万円増収の4,889百万円、営業利益は583百万円増益の182百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比4,510百万円増加の98,006百万円となりました。現金及び預金が3,691百万円増加するなど流動資産が3,341百万円増加し、投資有価証券の時価上昇等により固定資産が1,169百万円増加しました。

負債は、借入の実行等により、前連結会計年度末比256百万円増加の67,778百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比4,253百万円増加の30,228百万円となりました。A種優先株式に係る配当金の支払いにより資本剰余金が400百万円減少した一方、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が4,004百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は17,387百万円となり、前連結会計年度末から3,711百万円増加しました。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,754百万円のキャッシュ・イン(前年同期3,003百万円のキャッシュ・イン)となりました。主に営業利益の計上によるものです。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,916百万円のキャッシュ・アウト(前年同期4,131百万円のキャッシュ・アウト)となりました。主に固定資産の取得によるものです。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、172百万円のキャッシュ・アウト(前年同期5,021百万円のキャッシュ・アウト)となりました。主にA種優先株式に係る配当金支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想などの将来予測情報に関する説明については、本日(2024年8月8日付)発表しております「第2四半期(中間期)連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりです。

2024年12月期 通期連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	72,500	8,500	8,500	7,000	550.68
今回発表予想(B)	75,000	11,000	11,000	8,000	634.12
増減額(B-A)	2,500	2,500	2,500	1,000	
増減率(%)	3.4%	29.4%	29.4%	14.3%	
(参考)前期実績 (2023年12月期)	64,547	6,636	7,081	8,114	677.03

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,705	17,397
受取手形及び売掛金	5,155	4,842
商品及び製品	58	49
仕掛品	31	23
原材料及び貯蔵品	432	324
その他	1,915	2,001
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	21,293	24,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,930	37,044
工具、器具及び備品(純額)	2,754	3,127
土地	6,309	6,340
建設仮勘定	52	73
コース勘定	2,477	2,479
その他(純額)	826	817
有形固定資産合計	50,350	49,882
無形固定資産		
その他	602	550
無形固定資産合計	602	550
投資その他の資産		
投資有価証券	11,604	12,705
差入保証金	9,137	10,006
その他	615	232
貸倒引当金	△107	△4
投資その他の資産合計	21,250	22,939
固定資産合計	72,202	73,372
資産合計	93,496	98,006
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,132	883
短期借入金	9,387	7,628
1年内返済予定の長期借入金	10,923	11,592
未払法人税等	61	966
賞与引当金	216	215
固定資産撤去費用引当金	177	0
事業撤退損失引当金	199	782
その他	8,266	7,314
流動負債合計	30,365	29,383

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
固定負債		
長期借入金	19,710	21,067
役員退職慰労引当金	72	69
資産除去債務	918	968
退職給付に係る負債	6,352	6,166
会員預り金	9,498	9,503
その他	603	618
固定負債合計	37,156	38,394
負債合計	67,521	67,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	26,457	22,330
利益剰余金	△2,906	4,824
自己株式	△904	△906
株主資本合計	22,746	26,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,430	4,151
繰延ヘッジ損益	△12	5
為替換算調整勘定	△357	△438
退職給付に係る調整累計額	167	160
その他の包括利益累計額合計	3,227	3,879
純資産合計	25,974	30,228
負債純資産合計	93,496	98,006

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	29,162	35,882
売上原価	25,791	29,003
売上総利益	3,371	6,878
販売費及び一般管理費	1,459	1,754
営業利益	1,912	5,123
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	247	257
為替差益	553	405
受取地代家賃	38	45
その他	58	52
営業外収益合計	901	766
営業外費用		
支払利息	258	226
その他	50	47
営業外費用合計	309	274
経常利益	2,504	5,615
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	102
資産除去債務戻入益	—	27
事業撤退損失引当金戻入額	—	1
固定資産売却益	605	0
関係会社株式売却益	21	—
助成金収入	1	—
その他	—	7
特別利益合計	627	139
特別損失		
事業撤退損失引当金繰入額	14	783
投資有価証券評価損	6	1
関係会社株式売却損	19	—
特別損失合計	40	784
税金等調整前中間純利益	3,092	4,970
法人税等	21	966
中間純利益	3,070	4,004
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△2	—
親会社株主に帰属する中間純利益	3,073	4,004

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	3,070	4,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	567	721
繰延ヘッジ損益	△29	18
為替換算調整勘定	△16	△81
退職給付に係る調整額	△13	△6
その他の包括利益合計	508	651
中間包括利益	3,579	4,655
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,581	4,655
非支配株主に係る中間包括利益	△2	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,092	4,970
減価償却費	1,719	1,920
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△103
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	△1
固定資産撤去費用引当金の増減額(△は減少)	—	△176
事業撤退損失引当金の増減額(△は減少)	△93	582
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△175	△194
資産除去債務戻入益	—	△27
受取利息及び受取配当金	△250	△261
支払利息	258	226
為替差損益(△は益)	△553	△405
固定資産売却損益(△は益)	△605	△0
固定資産除却損	23	22
投資有価証券評価損益(△は益)	6	1
関係会社株式売却損益(△は益)	△1	—
売上債権の増減額(△は増加)	221	320
棚卸資産の増減額(△は増加)	68	124
仕入債務の増減額(△は減少)	△102	△251
未払消費税等の増減額(△は減少)	△965	52
その他	391	△1,054
小計	3,061	5,739
利息及び配当金の受取額	252	263
利息の支払額	△273	△233
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△36	△14
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,003	5,754

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,409	△1,054
有形及び無形固定資産の売却による収入	685	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△1,463	—
定期預金の払戻による収入	—	19
差入保証金の差入による支出	△2	△1,028
差入保証金の回収による収入	55	189
その他	1	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,131	△1,916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△655	△1,759
長期借入れによる収入	—	7,654
長期借入金の返済による支出	△3,651	△5,632
自己株式の取得による支出	△0	△1
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△110	—
配当金の支払額	△600	△400
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△19	△18
その他	14	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,021	△172
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,086	3,711
現金及び現金同等物の期首残高	24,110	13,675
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,023	17,387

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年3月27日開催の第91回定時株主総会決議により、その他資本剰余金3,726百万円を繰越利益剰余金に振り替えております。なお、これによる株主資本の合計金額への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前中間純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(中間連結損益計算書関係)

(助成金収入)

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、地方自治体より時短営業に伴う協力金等を受領し特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	WHG 事業	ラグジュア リー&バン ケット事業	リゾート 事業	計				
売上高								
宿泊	14,992	1,459	2,437	18,888	—	18,888	—	18,888
婚礼	—	3,323	—	3,323	—	3,323	—	3,323
宴会	—	1,520	—	1,520	—	1,520	—	1,520
料飲	—	1,534	—	1,534	—	1,534	—	1,534
日帰り・レジャー	—	—	583	583	—	583	—	583
その他	1,570	789	97	2,457	855	3,312	—	3,312
顧客との契約から生じる収益	16,562	8,626	3,118	28,307	855	29,162	—	29,162
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,562	8,626	3,118	28,307	855	29,162	—	29,162
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	33	2	49	1,105	1,155	△1,155	—
計	16,576	8,660	3,120	28,357	1,961	30,318	△1,155	29,162
セグメント利益又は損失(△)	1,895	646	△400	2,141	△235	1,905	6	1,912

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない清掃事業、不動産周辺事業、会員制事業などがあります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	WHG 事業	ラグジュア リー&バン ケット事業	リゾート 事業	計				
売上高								
宿泊	19,626	1,654	3,959	25,240	—	25,240	—	25,240
婚礼	—	3,186	—	3,186	—	3,186	—	3,186
宴会	—	1,675	—	1,675	—	1,675	—	1,675
料飲	—	1,661	—	1,661	—	1,661	—	1,661
日帰り・レジャー	—	—	684	684	—	684	—	684
その他	1,775	766	243	2,785	647	3,433	—	3,433
顧客との契約から生じる収益	21,401	8,945	4,887	35,234	647	35,882	—	35,882
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,401	8,945	4,887	35,234	647	35,882	—	35,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	25	1	42	1,216	1,258	△1,258	—
計	21,416	8,970	4,889	35,276	1,863	37,140	△1,258	35,882
セグメント利益	4,331	577	182	5,091	25	5,117	6	5,123

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない清掃事業、不動産周辺事業、会員制事業などがあります。

2. セグメント利益の調整額6百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、組織変更に伴い、従来「その他」に区分していたPT.FUJITA KANKO INDONESIAは「WHG事業」に変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(A種優先株式の取得及び消却)

当社は2024年8月8日開催の取締役会において、当社定款第12条の6の規定に基づき当社発行のA種優先株式を一部取得すること、及び会社法第178条に基づき当該株式の消却を行うことを決議いたしました。

1. 取得の内容

① 取得する株式の種類	A種優先株式
② 取得する株式の総数	40株(注)
③ 株式の取得対価の内容	金銭
④ 1株当たりの取得価額	102,641,420円58銭
⑤ 株式の取得価額の総額	4,105,656,823円
⑥ 取得先	D B J 飲食・宿泊支援ファンド投資事業有限責任組合
⑦ 取得予定日	2024年8月23日

(注) 発行済株式数は100株であり、取得後の未取得株式数は60株となります。

2. 消却の内容

① 消却する株式の種類	A種優先株式
② 消却する株式の総数	40株
③ 消却予定日	2024年8月23日

なお、本件消却については上記1.により本優先株式を当社が取得することを条件とします。